

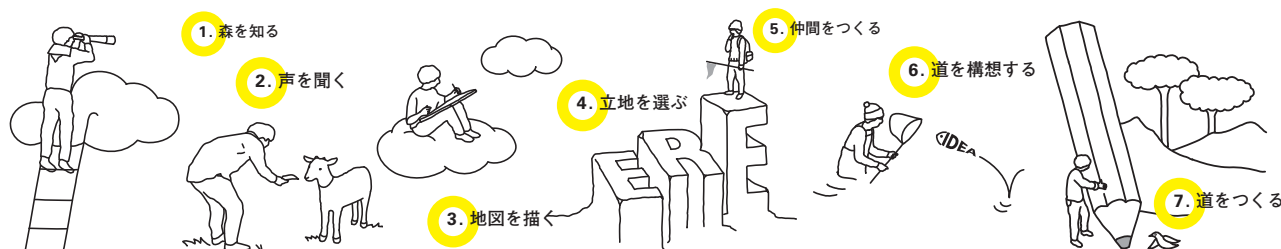
2013年9月10日発売

# 『ソーシャルデザイン実践ガイド』

## 地域の課題を解決する7つのステップ

『地域の課題に、市民の創造力を』を合言葉に、全国各地の地域の課題解決のプロジェクトを多数実施してきた issue+design。そのソーシャルデザインの実践的方法論が本になりました。

いま注目の課題解決手法である「ソーシャルデザイン」。人口減少、高齢化、地域産業、育児、コミュニティ、災害など、地域の抱える様々な課題を市民の創造力で解決する方法を、7つのステップと6つの事例で分かりやすく解説しています。



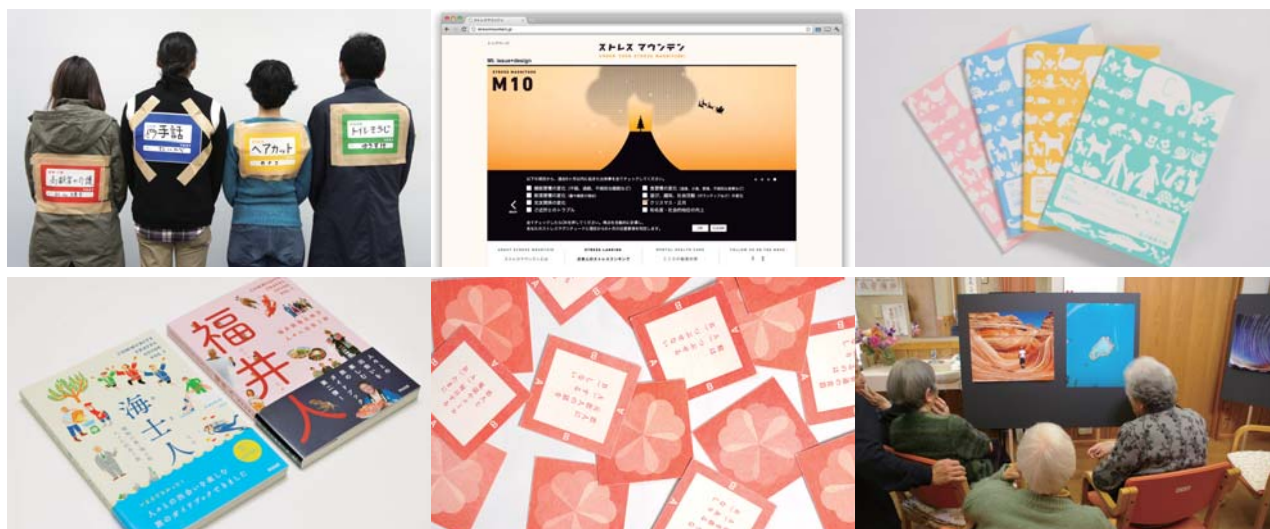
ソーシャルデザイン実践ガイド <http://p.tl/hvYU>

本書では、ソーシャルデザインを「社会課題の森の中に道をつくる活動」と喩え、以下の7つの実践的ステップに取りまとめています。

1. 【森を知る】 森の中を歩き、先人の知恵を学び、森の全容を理解する
2. 【声を聞く】 森の住民、管理者、活動家の声を聞き、課題を自分ごとにする
3. 【地図を描く】 自分の目と耳と足で手に入れた情報を手掛かりにし、森の全容を地図にする
4. 【立地を選ぶ】 どこに道をつくるべきか、選択・決定する
5. 【仲間をつくる】 住民や専門家など、道づくりに協力してくれる仲間を集める
6. 【道を構想する】 どんな道をつくるべきかというアイデアをみんなで多数出し、検証し、具体化する
7. 【道をつくる】 仲間とともにみんなで道をつくる。どんどん改良し、必要なものを加えていく

社会が抱える課題の森を探り、課題を整理して突破口を見出し、その解決に必要な道を拓く「ソーシャルデザイン」活動を、さまざまな活動で得た経験をもとに体系化しました。

## ソーシャルデザイン6つの実践例



本書後半では、実際に取り組んできた6つの事例を紹介しています。

1. 【できますゼッケン】 兵庫県神戸市、宮城県、岩手県三陸沿岸
2. 【ストレスマウンテン】 兵庫県神戸市
3. 【日本の母子手帳を変えよう】 全国
4. 【コミュニティトラベルガイド】 福井県福井市他
5. 【日本婚活会議】 群馬県嬬恋村他
6. 【認知症+ART ワークショップ】 熊本県熊本市

多岐にわたった課題解決の事例を紹介し、「社会課題」や「アイディア」「ポイント」をわかりやすく取りまとめました。本書の出版を通じ、社会に問題意識を持って活動している、活動したいと思っているさまざまな方々に、実践的な方法論とツールを提供できれば幸いです。

### 執筆者について



寛 裕介（issue+design 代表 / 株式会社 博報堂）

1975年生まれ。東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)。2008年、山崎亮氏他と共にissue+designを設立。以降、東日本震災支援ツール「できますゼッケン」、人との出会いを楽しむ旅のガイド「Community Travel Guide」など、ソーシャルデザイン領域の研究、実践に取り組む。共著書に『地域を変えるデザイン』他。グッドデザイン・フロンティアデザイン賞、竹尾デザイン賞他受賞。

### 問い合わせ先

tel : 03-6441-7752 fax: 03-6441-7749 mail: info@issueplusdesign.jp

issue+design 「ソーシャルデザイン実践ガイド」 広報デスク 担当：寛、白木

<http://issueplusdesign.jp>